

カメラ画像利活用セミナー

— リアル店舗・商店街などでのデータ活用事例と、生活者との相互理解構築について —

IoT推進コンソーシアム「データ流通促進ワーキンググループ」では、2016～2018年にかけて「カメラ画像利活用サブワーキンググループ」(<http://www.iotac.jp/wg/data/camera/>)を設置、IoT・AIの進展に伴い、もはや一般的である防犯目的のカメラ画像活用に限らず、店舗のスマート化やマーケティングなど商用目的などで活用を進める場合に、カメラに映る(可能性のある)生活者に対してどのような配慮をし、相互理解を構築していくかを取組めた、『カメラ画像利活用ガイドブック』を公表しました。

(経済産業省プレスリリース : <https://www.meti.go.jp/press/2017/03/20180330005/20180330005.html>)
(総務省プレスリリース : http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban18_01000040.html)

2019年5月には、生活者とのコミュニケーション上重要になる、データ取得前の「事前告知」やデータ取得時の「通知」の仕方について、事業者の実事例を紹介する『事前告知・通知に関する参考事例集』を公表しました。

(経済産業省プレスリリース : <https://www.meti.go.jp/press/2019/05/20190517001/20190517001.html>)
(総務省プレスリリース : http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban18_01000066.html)

小売店舗などの屋内においても、商店街など屋外においても、センシングデータの利活用が益々進み、スマートな購買体験、街づくりへの挑戦が加速しています。

本年9月に、リアル店舗・商店街等で進むデータ活用の現在地について、実際に取り組みを進める複数の企業からご紹介いただくとともに、これまでのカメラ画像に係る検討を踏まえて、防犯目的に留まらず、新たな目的でデータ活用をしていく際に、生活者とのように相互理解を構築していくかを考えるセミナーを開催します。

日時：2019年9月17日（火）15:00～17:00（受付開始 14:30）

場所：ベルサール東京日本橋 Room E（東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー4F）

（https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/tokyo/bs_nihonbashi/access/）

共催：IoT推進コンソーシアム、経済産業省、総務省、NEDO、JIPDEC

プログラム：

開会挨拶

経済産業省 商務情報政策局 情報経済課
総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政第二課

カメラ画像利活用ガイドブック・事例集のご紹介

【企業プレゼンテーション】カメラ画像等データ活用で変わる生活

「リアルストアにおけるカメラ活用事例」

古賀 輝幸氏（トライアルグループ株式会社ティ・アール・イー 代表取締役社長）

「ファミリーマート佐江戸店におけるカメラ・センサー取得データの利活用の可能性」

宮下 卓也氏（パナソニック・システムソリューションズ・ジャパン株式会社
ストア・ビジネス・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長）

「カメラを活用した街のセンシング」

徳島 大介氏（日本電気株式会社 デジタルトラスト推進本部 マネージャー）

【セッション】生活者との相互理解構築のために配慮すべきこと

菊池 浩明氏（明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 教授）
板倉 陽一郎氏（ひかり総合法律事務所 弁護士）
古谷 由紀子氏（公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 監事）
古賀 輝幸氏（トライアルグループ株式会社ティ・アール・イー 代表取締役社長）
宮津 俊弘氏（パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
IT革新推進部 パーソナルデータ利活用推進担当 主幹）
徳島 大介氏（日本電気株式会社 デジタルトラスト推進本部 マネージャー）
若目田 光生氏（一般社団法人データ流通推進協議会 理事、株式会社日本総合研究所 上席主任研究員）

申込方法：受付フォーム（<https://contact.jipdec.or.jp/m?f=778>）よりお申込ください。

【締切：2019年9月12日（木）正午】※先着順。応募者多数の場合は、期限内に受付を終了する場合があります。